

農地・水・環境保全だより第37号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

「津市多面的機能活動のつどい」を開催しました

平成30年11月6日（火）、津市美里文化センターで、「第3回津市多面的機能活動のつどい」を開催しました。

津市内で多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の中から他の組織の模範となるような優れた活動を表彰するとともに、活動組織間の情報交換や意見交換を行うことでより一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に開催しました。今回は、79組織から148名の参加があったほか、土地改良区、農業委員会、市、県等関係団体からの参加も含め、188名の参加となりました。

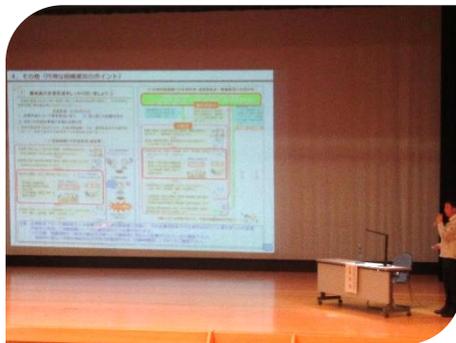
はじめに、主催者を代表して津市の前葉市長のあいさつの後、津市内で多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の内、応募のあった9組織のなかから、他の組織の規範となる優れた活動を行っている次の4組織に、優良活動表彰として市長賞が贈呈されました。



前葉市長のあいさつ

- ・神戸山田環境保全会（津市神戸）
- ・渋見環境保全組合（津市渋見町）
- ・桃園西部デンジ草保存会（津市久居）
- ・北黒田地域資源保全会（津市河芸町）

受賞された組織の皆様の記念撮影



東海農政局農村振興部
農地整備課安里室長による講演

審査をお願いした三重県農村地域資源向上委員会委員で三重大学の^{大野}研先生から講評をいただいた後、東海農政局農村振興部農地整備課 多面的機能支払推進室の安里室長より「多面的機能支払交付金の概要について」講演をいただきました。多面的機能支払の概要や活動組織の広域化の推進など、具体的な内容の講演をいただき、今後の活動の参考になるものでした。

休憩をはさんで、津市農林水産政策課の中北課長のコーディネートののもと、「今後の多面的機能活動をとりまく課題」をテーマにパネルディスカッションを行いました。活動

組織の課題に対して、さまざまな立場から意見や助言をいただきました。多面的機能支払交付金をうまく活用して担い手の負担軽減や、今後の地域での活躍につなげていってもらえるものだったと感じました。

最後に、津農林水産事務所の西村所長の閉会のあいさつで閉会しました。

参加者の皆様にご協力いただいたアンケートでも約8割の方から「興味深かった」「役に立った」との回答をいただき「制度概要の説明が分かりやすかった」、「課題解消は難しいが様々なアイデアを聞いてよかった」といった前向きな感想が目立ちました。また、「活動規模が小さな活動」、「若手の意見も聞きたい」などの意見が多く、今後の活動への取り組みが期待されている事がうかがえました。



パネルディスカッション
(コーディネーター 津市 中北課長)

パネルディスカッション
（パネラーの皆様）

写真左から
三重大学 大野先生
三重大学 伊藤先生
神戸山田環境保全会 藤波 様
東海農政局 安里室長
津農林水産事務所 藤井室長



津地域での3回目のつどいの開催でしたが、このような高評価をいただき、継続してほしいという要望も多くいただいたことから、多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆さんの交流、情報交換の場となるよう、今後も継続していきたいと考えています。

「第2回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました!!



平成30年11月14日（水）に東員町総合文化センター2階講習室において、活動組織間の情報交換や意見交換を行うことで、より一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に、「第2回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました。桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町の管内4市町の活動組織約60組織の関係者の他、管外の方々を含め、160名の参加がありました。

主催者を代表して、東員町の水谷俊郎町長にご挨拶をしていただいた後、基調講演・管内の取組事例発表・活動サポート・企業展示を行いました。

案内プログラム

「基調講演」では、狩女の会会長であり、ジビエ活用アドバイザーの長田富士子氏を講師にお招きし、『山の恩恵』と題してご講演をいただきました。石川県内で狩猟免許を持つ女性らで平成28年春に“狩女の会”を発足させ、「おいしい天然肉を多くの方に提供したい」、「獣害を減らし農山村の健全に繋がれば」とジビエカフェ・獣害解体処理施設・女性ハンター団体の設立など多彩な活動を展開し、新たな視点と挑戦で地域振興に繋げ地元での雇用創出も目指しているとお話をされました。長田さんには75分間という大学の講義並みの時間をご講演して頂き、獣害対策活動の事例や対策の効果と今後の取組など、参加者を飽きさせない講演となりました。つどい終了後には、参加した方から感銘を受けた、感動したとのお声を頂きました。

「管内の取組事例発表」では、桑名市の“かれがわふる里活動隊”事務担当の伊藤和也様にご講演をして頂きました。草刈や泥上げ、用排水路・道路の補修、景観形成などの活動や小学生を交えての農村環境保全活動について、ご紹介いただきました。

基調講演



主催者挨拶



満員の会場風景

「活動サポート」では、『地域で協力した活動にむけて』について、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の山下俊夫様にご説明して頂きました。活動組織の皆さまには、年度活動計画の策定、資源向上活動におけるポイント及び地域資源保全管理構想について、基礎的なことを再度確認していただくことができました。

最後に、桑名農政事務所の河内所長のあいさつで閉会しました。

桑員地域で2回目となるつどいの開催でしたが、参加者の皆さまは熱心に聞き入っており、満足して頂いた内容であったと思われ、主催者として大変ありがたい結果となりました。次回もさらにパワーアップして、多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆さんの交流と情報交換の場としていきたいと考えています。

桑員管内のみならず三重県全域からのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、企業展示をしていただきました各企業様の丁寧な説明及び管内市町担当者様には、開催にあたる準備にご協力をいただき、特に、東員町担当課様には会場の設営等をしていただきありがとうございました。



ロビー展示



企業展示

「多面的機能の維持・発揮活動 第2回三泗鈴亀のつどい」を開催しました！！

平成30年11月15日（木）、四日市市勤労者・市民交流センターにて、四日市農林事務所管内の「多面的機能の維持・発揮活動 第2回三泗鈴亀のつどい」を、49組織を始め関係者約130名の参加を得て、それぞれ分科会に分かれて意見交換会を行いました。

分科会は「活動維持のための工夫」「耕作放棄地への対策」「今後の発展のための活動」の3つのテーマ別に集まり、普段は交流のない各市町の活動組織同士で活動の課題や解決に向けての方策等活発に意見交換が行われました。



分科会

閉会式では、いくつかの活動組織の方に分科会での意見交換の概要を報告していただき、参加していない他の分科会ではどんな意見が出たのか、参加されたみなさまに共有していただきました。

参加された方からは「他の活動組織の話聞き、課題を共有することができて良かった」「取り入れたい他地区の活動を見つけられた」など参加して視野が広がったという意見をいただきました。さらに「もっと多くの人と意見交換したかった」など活動をよりよくしていきたいという強い思いを感じる意見もありました。



意見交換を行う様子



意見交換会での概要を報告している様子

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会のホームページがリニューアルしました。

ホームページのデザインが変わりました。



活動の概要や、組織さんの必要な様式などは、こちらからご覧いただけます。

事務所からのお知らせ

活動組織の皆様のイベント情報や活動状況を、ホームページや「たより」で発信させていただきますので、どんどん投稿して下さい。

投稿先

〒514-0006
津市広明町 330（水土里ネットみえ内）
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TFL 059-226-4824 FAX 059-225-7332